報道関係各位

2026年11月10日
株式会社ヤプリ

ヤプリ、百十四銀行の行員向け社内報アプリ「114times」の開発を支援

～70年続く紙の社内報をアプリ化、行員ログイン率93.6%を実現～

社内エンゲージメントアプリプラットフォーム「UNITE by Yappli（ユナイト バイ ヤプリ）」を提供する株式会社ヤプリ（本社：東京都港区、代表取締役：庵原 保文、以下「ヤプリ」）は、株式会社百十四銀行（本社：香川県高松市、代表取締役 取締役頭取：森 匡史、以下「百十四銀行」）の、全行員・OBを含む約3,000名に向けた社内報アプリ「114times」の開発を支援したことをお知らせいたします。



■UNITE by Yappli導入の背景と目的

百十四銀行では、1956年の創刊以来、紙の社内報「114times」を発行し、行員やOBに親しまれてきました。しかし、従来の紙媒体や社内共有環境においては、以下のような課題を抱えていました。

- **情報の鮮度の低下：**
  年４回発行の紙媒体では制作から発送までに最大２か月かかり、タイムリーな情報伝達が困難でした。
- **閲覧状況の不透明さ：**
  紙媒体ではどの記事がどれだけ読まれているか、関心度を把握できず、反響が見えないことが課題となっていました。

これらを一度に解決できる手段としてアプリ化を選択しました。

■行員向けアプリ「114times」の特徴

「114times」アプリの、注目ポイントをご紹介します。

１．経営層と現場の距離を縮める「親しみやすいコンテンツ」

- **「役員リレーコラム」：**
  １～２か月に１回、役員のオフの姿を交えた親しみやすいコラムをリレー形式で配信。普段見られない経営陣の素顔を届けることで、１本あたり300件を超える「いいね」を獲得するなど、経営層と行員の心理的距離の縮小に貢献しています。

- **「ショート動画」：**
  隙間時間でも気軽に楽しんでもらえるよう、１分以内のショート動画企画をスタート。若手行員のアイデアを積極的に取り入れるなど、カジュアルでこれまでとは違ったコンテンツとして配信しています。



２．行員主体のボトムアップ企画とコミュニケーションの活性化

- **「タイムカプセル」施策：**
  2028年、百十四銀行は創業150周年という歴史的な節目を迎えます。この節目に向け、行内で組成された創業150周年記念事業プロジェクトチームが企画したのが、アプリを活用した「タイムカプセル」施策です。
  行員一人ひとりが「挑戦への想い」をアプリに入力し、150周年当日にプッシュ通知として本人のスマートフォンへ届く仕組みです。過去の自分がつづった言葉を未来の自分が受け取ることで、次の150年に向けたモチベーション向上を図っています。

- **「サンクスカード」機能の導入：**
  行員同士が日常の感謝のメッセージを送りあえる仕組みです。ある支店では、毎月３人を指名し、行員全員がその人の良いところを探して「ありがとう」を送る取り

組みをスタート。トップダウンではなく、現場から自然に広がる「称賛の文化」が、アプリを通じて根付き始めています。



■導入後の成果と変化

アプリ導入後は、昼休みや定時後といった閲覧しやすいタイミングに合わせたプッシュ通知や継続的な利用促進活動が功を奏し、現役行員のアプリログイン率が2026年８月末時点で93.6%に達するなど、ほぼ全行員への確実なリーチを実現しています。

数字だけでなく、行内にも確かな変化が生まれています。各支店から「支店だより」としての掲載依頼が急増したほか、若手行員のアイデアが実際の企画として実現するなど双方向のコミュニケーションが定着しつつあります。こうした情報発信の広がりが、組織全体の一体感の醸成につながっています。

ヤプリは、ワンプラットフォームとして、今後も企業をはじめ学校・自治体・あらゆる組織で働く人々の関係性を豊かに育む支援を進めてまいります。

■ご担当者様コメント（株式会社百十四銀行 経営企画部 広報グループ 様）

「114times」は1956年の創刊以来、長年にわたり当行の社内コミュニケーションを支えてきました。創刊から70年ものあいだ親しまれてきた名前には、行員やOBの皆さんの愛着が詰まっています。アプリ化はあくまで「媒体の進化」であって、社内報としての文化や精神は変えたくありませんでした。だからこそ名前はそのまま引き継ぎました。

アプリ化により、従来の紙媒体では難しかったタイムリーな情報共有と、全行員・OBへの一斉アプローチが可能になりました。若手行員との対話の場で「頭取の一日が知りたい」という声が寄せられ、それが実際の動画企画につながるなど、現場発の双方向コミュニケーションや各支店からの積極的な情報発信といった、確かな変化を実感しています。

2028年には創業150周年という大きな節目を迎えます。今後もアプリを通じて行員同士のつながりを生み出しながら、次の150年に向けて挑戦する文化と組織の一体感をさらに高めていきたいと考えています。

■株式会社百十四銀行について

本社　　：〒760-8574　香川県高松市亀井町５番地の１
代表者　：代表取締役 取締役頭取　森 匡史
創業　　：1878年11月１日
URL　　：https://www.114bank.co.jp/

■UNITE by Yappliについて

「UNITE by Yappli」は、従業員体験（Employee Experience）の向上を通じて組織活性化を支援する社内エンゲージメントアプリプラットフォームです。経営メッセージや社内施策、称賛文化、業務ツールへの導線を専用アプリに集約し、スマートフォンを通じて全従業員へ安全かつ確実に情報を届けます。情報共有にとどまらず、従業員の主体的な行動を促し、エンゲージメントの可視化・向上を通じて変化に強い組織づくりを支援します。

・UNITE by Yappli：https://unite.yapp.li/

■株式会社ヤプリについて

本社　　：東京都港区六本木３－２－１　住友不動産六本木グランドタワー41階
エリア支社：グランフロント大阪北館８階（大阪）
　　ONE FUKUOKA BLDG. ７階（福岡）
代表者　：代表取締役　庵原 保文
事業内容　：「Yappli」「Yappli WebX」「Yappli MiniApp」「Yappli MobileOrder」の開発・提供
URL　　：https://yappli.co.jp/

【本件に関するお問い合わせ】
株式会社ヤプリ 広報
メール：pr@yappli.co.jp